島根大学
しろうさぎ 病院ニュース
第 22 号
2010. 10. 1
発行
島根大学医学部附属病院
病院ニュース編集委員会

人間ドック開設にあたって

病院長　小林　祥泰

当院では、この度文部科学省共済組合員を対象とした人間ドックを開設することにいたしました。島根大学教職員、松江高等専門学校等の教職員が対象となります。

本学でも生活習慣病が増加し、今までに現職で病気に倒れた人も少なくありません。職員健診はようやく100%の受診率となりましたが、これだけでは発見出来ない病気も多く、早期発見のための人間ドックが望まれていました。そこで附属病院の診断検査機器等の空いている時間帯を活用して人間ドックを行う体制を整えました。本ドックでは従来の人間ドックのように余分な検査を受ける必要はなく、基本健診に自分が必要とするオプションを自由に組み合わせることが出来ます。がんや脳卒中の家系があるとか、腰痛があるとか自分が心配な部分を精査することが出来、効率的です。またこの人間ドックを受けられるとその年度の職員健診は免除されます。みなさんの健康を維持するため、早期発見に役立つ人間ドックを是非受けて頂きたいと思います。

（人間ドックはウェブでの申し込みとなります。）

●実施日および時間

毎週火曜日の午後1時～4時
（祝日、盆休み、年末年始はお休みします）
ただしオプション検査で脳ドックを選択された場合は、午前8時～9時に頭部MRIを行いその後続いて基本項目ドックの受診となります。

予約のホームページ　http://hdrs.med.shimane-u.ac.jp/

平成23年 新病棟完成　看護師・助産師 大募集

理念
地域医療と先進医療が調和する大学病院

目標　患者さん中心の視点に立った医療の提供
安全・安心で満足度の高い医療の実践
人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
地域医療人とのネットワークを重視した医療の展開
地域社会に還元できる臨床研究の推進

－ 目 次 －

◆ 人間ドック開設にあたって …… 1P
◆ 新病棟小児センターに「ミッフィー」のデザインを採用！ …… 2P
◆ 外来・中央診療棟改修に伴う移転計画について …… 2P
◆ 山陰と阪神を結ぶ医療人養成プログラム4大学合同FDを開催 …… 3P
◆ 褥瘡対策管理加算の算定にご協力下さい …… 4P
◆ 先進医療「人工括約筋を用いた尿失禁手術」 …… 5P
◆ カプセル内視鏡検査の現状 …… 6P
◆ 寧夏医科大学との医療交流協定に基づく臨床医の派遣 …… 7P
◆ 臨床研修評価受審に向けて …… 8P
◆ ワークライフバランス支援室で学童一時保育を開始します …… 8P
◆ 新卒看護師の院内ローテーション研修を開始します …… 9P
◆ 骨粗しょう症の方はまず歯科医院受診を！ …… 9P
◆ 地域医療交流サロンを開設しました …… 10P
◆ 出雲市防災訓練に本院DMATが参加 …… 10P
◆ フィッシュ！がやってきた “フィッシュ哲学”導入によるイキイキ楽しいやりがいのある職場づくり …… 11P
◆ 第7回島根大学医学部附属病院関連病院長会議を開催 …… 11P
◆ 日本医療マネジメント学会島根支部 第9回学術集会を開催しました …… 12P
◆ 青少年のための科学の祭典2010島根大会に出展 …… 12P
◆ 慢性腎臓病予防・透析・腎移植に関する市民講演会を開催 …… 13P
◆ 寧夏医科大学　呉世彩校董事会主席が医学部長・病院長を表敬訪問 …… 13P
◆ がん指導薬剤師に認定されました …… 14P
◆ 看護部から新たに笑い療法士2名誕生!! …… 14P
◆ 「夢実現進学チャレンジセミナー」参加高校生による医療体験実習 …… 15P
◆ 高校生手術部体験学習を実施しました …… 16P
◆ 患者サービス向上の取り組みについて …… 17P
◆ ボランティア活動について …… 18P
◆ 病院運営委員会の報告 …… 19P
◆ 癒しのコーナー …… 20P
◆ 研修会・講演会・学会等の お知らせ …… 21P
◆ 看護師・助産師大募集 …… 22P

新病棟小児センターに「ミッフィー」のデザインを採用！

総務課　総務担当室

医学部附属病院では、建設中の新病棟6階「小児センター」の壁などの内装デザインに、人気キャラクター「ミッフィー」を採用することとし、9月6日（月）にオランダ在住の絵本作家　ディック・ブルーナ氏の著作権管理会社「（株）ディック・ブルーナ・ジャパン」と内装デザインを担当する療養環境コンサルタント会社「（株）スタンダードマーク」と調印式を行い、子どもたちのためのより良い院内環境を実現することを目的とした合意書を交わしました。

「ミッフィー」はウサギの女の子のキャラクターで、絵本は世界50カ国で翻訳出版され、約8,500万部出版されています。

小児センターを含む新病棟は来年6月に開院予定で、ミッフィーをはじめとするディック・ブルーナ氏が手掛けたキャラクターが病棟（小児センター）全体に施されるのは、世界初の画期的な試みです。

ミッフィーたちと一緒に入院中に明るく楽しい気持ちで過ごすことができ、早く元気の出るような癒しの病棟となることを期待しています。

調印式後、新病棟小児センター内デザイン案の前で握手する関係者（左から（株）ディック・ブルーナ・ジャパン、病院長、（株）スタンダードマーク」の各氏）

外来・中央診療棟改修に伴う移転計画について

病院再開発担当　井川　幹夫

平成23年7月から外来・中央診療棟の改修が始まる予定で、これに伴い各科・各部門に移転していただくことになります。表に示した移転計画案は、今後変更することもありますので、ご了承くださいますようお願いします。

診療科・部門	移転時期	移転場所
※放射線科	H23.7	1階：中央放射線部内にスペースを確保し仮移転し，H23.11 月末まで使用
	H23.12	1階：高エネルギー棟内に本移転
※卒後臨床研修センター	H23.7	1階：薬剤部薬務管理室跡地等に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	2階：小児科跡地及び泌尿器科跡地等に本移転
※整形外科	H23.7	※ギブス室の一部及び工作室は放射線科診察室跡地等へ仮移転
	H24.4	1階：外科跡地に移転
精神科神経科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科	H23.12	3階：集中治療部跡地に移転
産科・婦人科、眼科、麻酔科、分娩部	H23.12	3階：手術部跡地に移転
光学医療診療部	H23.12	1階：救急部跡地及び放射線科跡地の一部に移転
※外科	H23.12	3階：麻酔科跡地に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	1階：脳神経外科跡地及び整形外科跡地に本移転
※内科	H23.12	3階：精神神経科跡地及び耳鼻咽喉科跡地に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	2階：内科跡地の一部及び皮膚科跡地に本移転
※リハビリテーション部	H23.12	1階：薬剤部調剤室跡地等に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	3階：産科・婦人科跡地，分娩部跡地及び歯科口腔外科跡地に本移転
皮膚科、小児科	H24.4	2階：内科跡地の一部に移転
血液浄化治療部	H24.4	2階：現血液浄化治療部及び光学医療診療部跡地へ拡充
泌尿器科	H24.4	2階：眼科跡地に移転
※脳神経外科	H24.4	1階：外科跡地に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	1階：整形外科跡地に本移転
※外来化学療法室	H24.4	3階：手術部跡地に仮移転し，H24.12 月末まで使用
	H25.1	3階：精神神経科跡地に本移転
※治験管理センター	H24.4	3階：手術部跡地に仮移転し，H25.2 月末まで使用
	H25.3	1階：薬剤部跡地に本移転
※看護部	H24.4	2階：西病棟2階に仮移転し，H24.8 月末まで使用
	H24.9	2階：現在の場所
※臨床栄養部	H24.9	1階：薬剤部跡地に仮移転
	H25.1	1階：現在の場所

※は仮移転が必要な診療科・部門です。

山陰と阪神を結ぶ医療人養成プログラム４大学合同ＦＤを開催

病院医学教育センター　廣瀬　昌博

9月5日、文部科学省「医師不足解消のための大学病院を活用した専門医療人材養成」（大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成）に伴う「山陰と阪神を結ぶ医療人養成プログラム」4大学（島根大学、神戸大学、鳥取大学、兵庫医科大学）合同FDが、神戸市の神戸ポートピアホテルにおいて開催されました。

このFDには、元文部科学省高等教育局医学教育課長の三浦公嗣先生のほか、4大学から約90名が参加し、鳥取大学コーディネータの植木　賢講師の総合司会のもと、本学プログラム実施責任者である熊倉俊一教授及び神戸大学病院の杉村病院長の挨拶に続き、三浦公嗣先生による「国民が求める医療人養成－大学の役割・地域の役割－」と題した基調講演が行われました。その後引き続き、島根大学コーディネータを務める私の司会で「若手医師のニーズに応える医療人養成－地方型大学と都市型大学の役割－」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、本事業の発案者である三浦先生から、本事業の趣旨・目的や今後この事業に対する思いや期待するところなどが紹介されました。そのなかで、島根、鳥取は高齢化先進県であり、15年後には埼玉・千葉がこの問題に直面するため、同県は山陰地区をお手本にしなければならない時代がやって来るという、非常に興味深い発言がありました。これを受け、パネルディスカッションでは、本事業のメリット、デメリット、今後の課題及びこの事業に参加した若手医師からの報告など活発な討論がなされました。とかく、受け身になりがちな山陰地区の地方型大学が都市型大学に対して、「地域医療」を核とする魅力あるプログラムを構築することが重要であることが議論されました。最後には、本事業の重要性、必要性から、本事業の継続を期待する声が多く聞かれました。

基調講演の三浦公嗣先生

研修医師によるパネルディスカッション

褥瘡対策管理加算の算定にご協力下さい

褥瘡対策委員会　金子　栄

皆様には日頃より褥瘡対策についてお世話になっております。院長直属の機関である褥瘡対策チームは、2009年10月に委員会に昇格いたしました（しろうさぎNo.19）。さらに、褥瘡対策リンクナース会も発足し（しろうさぎNo.21）、対策の充実がはかられてきております。ここで、今年の目標の一つでもあります褥瘡対策管理加算（20点）の算定を、入院患者さんを診る方々にお願いしたいと思います。

算定の方法（フローチャートを参照）は、主治医もしくは担当看護師が入院時に「栄養および褥瘡アセスメント」を書くことが必須条件です。アセスメントの「褥瘡について」の該当項目を選択してください。褥瘡があれば、その部位と発生日を、褥瘡がなくとも、患者の日常生活自立度を入力し、その自立度のランクがBもしくはCの場合は、その次にある危険因子を評価し、危険因子がひとつでも「できない」または「あり」がある場合に、「褥瘡対策に係わる診療計画書」を作成します。褥瘡がある場合は褥瘡対策外来（初診）を予約してください（毎週火曜）。褥瘡がない場合でも、危険因子がある場合は褥瘡対策外来（リスク）を予約し（毎週火曜）「褥瘡対策に係わる診療計画書」を担当看護師が作成してください。不明な点は褥瘡リンクナース、褥瘡対策委員会のメンバーにご一報ください。

また、当院の昨年度の褥瘡の実態を表にまとめました。皆様のおかげで、褥瘡発生率、有病率ともに全国平均を大きく下回っております。

今後とも皆さんのご協力を何卒よろしくお願いします。

褥瘡対策フローチャート

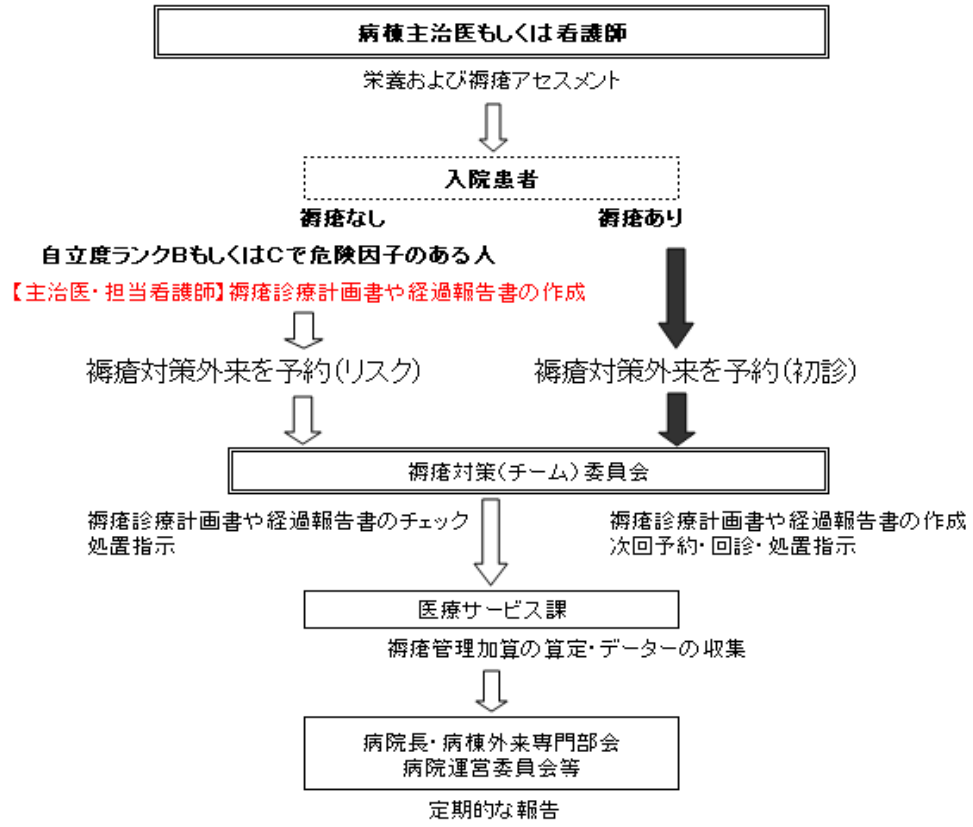


表　当院の褥瘡発生状況

年度	延褥瘡回診診察数	新規褥瘡診察数	平均期間褥瘡発生率	褥瘡有病率	院内発生	院外発生
平成21年	305名	83名(うち褥瘡あり79名)	0.29%	0.52%	44名	35名
褥瘡学会報告大学平均			0.98%	1.46%		

先進医療「人工括約筋を用いた尿失禁手術」

泌尿器科　安本　博晃、井川　幹夫

高齢化社会、食生活の欧米化、診断法の進歩とともに、早期前立腺癌と診断される患者は増加傾向にあります。早期前立腺癌の標準的な治療の一つである、前立腺全摘術の実施件数は、2004年には全国で1年間に1万6千件に達し、その後も増加の一途をたどっているとされています。

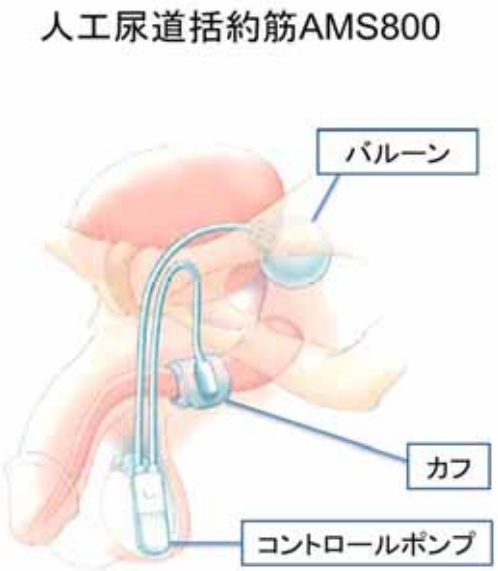
これまで前立腺癌の外科的治療にとって“術後尿失禁”は大きな課題でした。骨盤内解剖の詳細な解明に伴い、神経血管束を温存し、尿道括約筋損傷を最小限に抑える術式の改良が行われ、術後1年以内に排尿機能は9割方回復するようになった現在でも、紙オムツを手放せない重度の尿失禁が1-3%程度生じるとされています。

人工尿道括約筋AMS800の埋込術は尿道括約筋障害による重度の尿失禁に対する唯一の根治的治療であり、米国では広く普及しています。人工括約筋は尿道の周りにシリコン製のカフを巻き付けその中に液体を充填することで尿道を圧迫し、失禁を保ちます。排尿の際にカフ内の液体を抜くためのコントロールポンプは陰嚢内に、液体を貯留するバルーンは下腹部に、それぞれ埋め込みます。手術は全身麻酔下に行い、3-4時間程度を要します。入院期間は7日間程度です。設置した人工括約筋を実際に作動させるのは約6週間後となります。

本邦ではあまり普及していませんでしたが、当科は国内ではいち早く2001年から本治療を導入し、その有用性を報告してきました。そして、このたび先進医療施設として承認されました。約160万円の自己負担が必要となりますが、比較的安全で、患者さんの満足度の高い治療法であり、今後、広く普及することが期待されます。

適応は前立腺全摘術のほか、前立腺肥大症手術、新膀胱造設術（膀胱全摘）の術後を含む尿道括約筋不全による尿失禁で、適応禁忌は治療困難な尿路閉塞、尿路感染、排尿筋過活動、進行性の神経疾患などです。

現在、国内での先進医療認定施設は当院を含め6施設（福岡市原三信病院、東北大学病院、北海道大学病院、北里大学病院、国立がんセンター中央病院）のみです。



カプセル内視鏡検査の現状

光学医療診療部　天野　祐二

従来小腸はその検査の困難さから、「暗黒の臓器」などと呼ばれ、病気が大変進行してから発見されることが多く、患者さんはもとより、私たち消化器専門医も悩まされてきました。一方で、今日の診療の場では、高齢者を中心に抗凝固療法・抗血小板療法を受ける方が急増したことによる薬剤性小腸疾患の増加、及び若年者における炎症性腸疾患の増加は、確実に小腸疾患に対する信憑性のある検査のニーズを高めるものであり、早急に現状を打破せねばならない環境となっておりました。

そのような状況の中、小腸疾患に対して、ダブルバルーン内視鏡及びカプセル内視鏡の開発・発展が、臨床の場で大きな福音となったことは間違いありません。そして、その二つの検査が、昨年より当院でも可能となっております。特にカプセル内視鏡検査は、前夜の絶食のみで苦痛なく行え、従って外来検査が可能となります。カプセルは26×11㎜の大きさで、ほとんどの方が飲み込むことが可能で、服用後は10時間記録用のレコーダーが装着されたベストを着て頂くだけです（図1）。2時間後より飲水、4時時間後より食事も可能で、自由に動き回わって頂けます。外来検査の場合は、翌朝にベストを提出して頂き、記録された画像を専門医が読影し診断します（図2）。ただし、腸の閉塞性疾患が疑われる場合と心ペースメーカーを装着している場合は検査が出来ません。今年からは、第2世代のカプセル内視鏡となり、より鮮明な画像の記録が可能となっております。図3は小腸の腫瘍性病変ですが、カプセル内視鏡で鮮明に描出されております。この後は、ダブルバルーン内視鏡で精密検査をする手順となりますが、この症例のように、以前には小腸X線検査をもってしても簡単に発見することが出来なかった小腸病変も、簡便にスクリーニングすることが可能となり、その診断戦略も大きく変遷しております。

図1 小腸用カプセル内視鏡と記録装置ホルダー用ベスト

また、近い将来、食道用や大腸用のカプセル内視鏡も日本で使用可能となる予定ですので、幅広い臨床応用に期待しています。さらに、当部では全国に先駆け、食道用カプセル内視鏡を用いた胃癌検診の試みを行っております。一部の職員の方にもお手伝いを頂きながら研究を進めておりますが、現時点ですでに臨床応用可能ではないかという成績も得ております。今後は、カプセル内視鏡による小腸病変早期発見の啓発とともに、他の消化管への応用を臨床研究していきたいと考えております。

図2 専門医によるカプセル内視鏡画像の読影風景

図3 小腸腫瘍のカプセル内視鏡画像

寧夏医科大学との医療交流協定に基づく臨床医の派遣

泌尿器科　椎名 浩昭、小原 千秋、井川 幹夫

本年9月6日から9月10日の5日間、本院がこれまでに行ってきた文部科学省の医療人教育支援プログラム「夢と使命感を持った地域医療人育成・日本版WWAMIプログラム」の成果を活用した「国際的視点を持つ医療人育成と島根の地域性を活かした魅力ある医療人育成プログラム」の一環として中国寧夏回族自治区銀川市にある大学間交流協定校の寧夏医科大学附属医院を訪問しました。

銀川市は人口約160万の中国寧夏回族自治区の省都で、寧夏医科大学附属医院の外科系病棟はベッド数約2400床の壮大なビルであり（図1）、手術部には手術室28室以外に、食堂、医師休憩室、加えて喫煙室も完備されていました。

今回の訪問では、寧夏と島根との泌尿器科的相違を垣間みる事ができました。島根県を含め日本では前立腺癌の早期発見、早期治療に力が注がれていますが、寧夏では前立腺癌症例自体が少なく、たとえ限局性前立腺癌でも経尿道的な前立腺切除術と内分泌療法の併用がなされていました。一方、年間200例前後の腎腫瘍に対しては開腹あるいは鏡視下手術が行われ、島根ではまれな尿路結核（腎結核）も多いようでした。膀胱癌も大半が経尿道的手術で治療され、膀胱全摘と尿路変向に至る症例はかなり少ないようでした。泌尿器科では手術室2室を使用し連日手術が行われていましたが、腎摘2例、腎尿管全摘1例を朝8時30分から直列で開始し、午後4時過ぎには3例とも終了し、患者さんの入退室に係る手術室スタッフの手腕には見習うべき点が多々あるように見受けられました（図2）。

寧夏医科大学では、臨床系教室からの手術見学は初めてとのことで、終始手厚く歓迎され、5日間と短期間ではありましたが、貴重な体験をする事ができました。お互いの病院でそれぞれ特色のある領域が異なり、今後も医療交流を継続することで互いの医療レベルの発展を期待できるものと思われました。

図1 寧夏医科大学附属医院の外科系病棟はベッド数が約2400床もあります。

図2 手術室スタッフにより手際よく患者さんの入室退室が管理されています。

臨床研修評価受審に向けて

病院医学教育センター　廣瀬　昌博

島根大学医学部附属病院（本院）は、病院機能評価、働きやすい病院評価、プライバシーマーク制度、ならびにISO14001（環境マネジメントシステム）など数々の認定・認証を取得しています。一方、全国には、本院を含めた特定機能病院が82病院、さらにこれら特定機能病院をはじめとした臨床研修病院が約1000病院ありますが、本院のように複数の認定、認証を受けた病院は、そう多くはありません。昨今のように、医療の質の向上と患者の安全確保が至上命題となっている「大学病院」においては、このような評価受審は必須であり、その認定・認証が地域や島根県ならびに全国への発信に繋がるものと考えます。

さて、本院は、臨床研修病院としての評価である、「臨床研修評価」を今年度中に受審することとなりました。この評価は、「NPO法人卒後臨床研修評価機構」（http://www.jce-pct.jp/index.html）によるもので、現在、全国で84病院が認定され、そのうち、国立大学病院は筑波大学と佐賀大学の2大学のみです。本事業の目的は、「国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与すること」にあります。

「病院機能評価」が「病院」としての機能を評価するのに対し、「臨床研修評価」は「臨床研修病院」としての機能を評価するものです。「新臨床研修制度」は、マッチングによって研修医が自分の希望する臨床研修病院を受験することができ、合格すれば2年間で様々な診療科をローテイトすることで幅広い臨床研修を行ないプライマリケアに対応できる医師を育成するものですが、この「臨床研修評価」によって本院が「真の臨床研修病院」であることを地域社会に発信するためにも受審が必要であると考えます。

受審の時期は来年早々になる予定ですが、卒後臨床研修センター、病院医学教育センターならびに会計課経営支援室が連携して、ワーキンググループが設置され、徐々にではありますが臨床研修評価受審に向けて進んでいます。

病院職員のみなさまには、日常的にお忙しいとは思いますが、すべての職員によって質の高い臨床研修医を育成する臨床研修大学病院としての「臨床研修評価」認定を取得すべく、ご理解とご協力をお願いいたします。

ワークライフバランス支援室で学童一時保育を開始します

ワークライフバランス支援室　内田　伸恵

島根大学医学部ワークライフバランス支援室では、教職員学生の育児支援の一環として、病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」を運営しています。平成20年春の開設以来、利用登録者数103名、のべ利用者数382名と、多くの皆様に利用していただき、利用者にもお子様にも大変喜ばれています。この度、新たな育児支援として、小学生の学童保育（学童クラブ：通常小学校終業時刻～18時まで）以降の時間帯に対応した「学童一時保育」を開始することとなりました。教職員・学生が公務（会議・病院業務）や講義・研修会に出席するためお子様の保育が必要な場合に、夕方の一時保育を実施します。夜間にお子様が一人で自宅で過ごすという利用者の不安を解消し、安心して仕事や学業に従事できるようサポートしていきます。

7月には、学童保育担当者の人材育成のため、男女共同参画推進室と共催で子育てサポーター養成講座を開講し、職員・学生や地域の方々にも多数ご参加いただきました。養成講座を修了した子育てサポーターとワークライフバランス支援室スタッフが、保育を担当いたします。

保育対象児は教職員学生が養育する小学1～4年の学童、保育時間は平日16時～20時、利用料金は1時間につき300円です。保育は、医学部会館1Fワークライフバランス支援室の多目的室で行います。

学童一時保育開始についての詳細や利用申請書は、ワークライフバランス支援室のホームページに掲載予定で、メールマガジンや学内掲示でも告知いたします。

問合せ先：ワークライフバランス支援室
内線2534、wlb@med.shimane-u.ac.jp

多目的室（保育室）

新卒看護師の院内ローテーション研修を開始します

看護部　教育担当　八塔　累子

平成22年10月から12月の3ヶ月間に新卒看護師の院内ローテーション研修を行います。これは、厚生労働省が提示した「新卒看護職員卒後臨床研修制度事業」を基に、当院の現状を踏まえて計画・実行するものです。院内ローテーション研修では、配属部署で経験できない基本的看護技術を習得する機会であり、看護観を深める機会にもなるでしょう。この研修は、患者さんを多面的にとらえて理解できる看護師を育成するという一つの目的と考えています。

他部署・他部門で研修することで、院内に顔見知りが増えることは新卒看護師にとって大変心強いことです。また、チーム医療を支える部門と職種を理解するとともにパートナーシップが育成され、スムーズな連携につながっていくと思っています。

看護職の新人だけでなく全ての職員が学び合い、支え合うことができる組織文化の醸成と組織の成長につながる取り組みでもあります。
ご協力をよろしくお願いいたします。

※ローテーション研修前に、プリセプターとともにフォローアップ研修をしました。

～フィジカルアセスメント～

イチロウさんで心音確認！

SimMan蘇生！

先輩と振り返り

- 研修期間：平成22年10月12日（火）～ 12月24日（金）；半日～3日間コース
- 研修場所：集中治療部、新生児集中治療部、手術部、外科系病棟（4階東、4階西、5階東、5階西、6階東、6階西）、内科系病棟（7階東、7階西、8階西）、産科･婦人科病棟（3階東）、小児病棟（3階西）、精神科神経科病棟（8階東）、材料部、リハビリテーション部、臨床栄養部
- 研 修 者：平成22年度採用の新卒看護師　44名

骨粗しょう症の方はまず歯科医院受診を！

歯科口腔外科　　江川　正義

多くの人が悩まされている骨粗しょう症。その治療薬として“ビスフォスフォネート”という種類の薬が使われるようになりました。また、この薬はがんに関連した骨の病気などにも使われ、多くの患者さんの助けとなっています。優れた治療薬であるため使用数は増加の一途をたどっており、島根県でも年間数万人単位の方が使用していらっしゃると推測されます。

近年、この薬を使用している患者さんの中であごの骨が腐るという例が見られるようになりました。2006年に行った全国調査では30例程度でしたが、使用数の増加や病気の認知度の高まりにより報告数は徐々に増え、最近の調査では200例以上に達しています。県内でも多数報告されるようになってきました。

その発症メカニズムはまだ明らかになっていませんが、この骨の炎症はあごの骨にしか見つかっていないことから、口の中の細菌が関係している可能性が高いと言われています。

一度発症すると治療が難しい病気であるため、なにより予防が重要です。そのために、”ビスフォスフォネート”という種類の薬を使用する前には歯科医院を受診し、できる限り歯科治療を済ませておくこと、また、その後も口をきれいな状態に保っておくために定期的なメンテナンスを受けることが大切です。

当科でも治療指針を作成し、他診療科・関連病院・地域の歯科医院と連携して診療に当たっています。

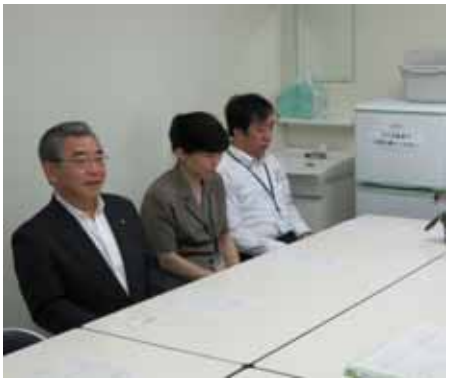
口は健康の元です。骨粗しょう症の患者さんはもちろんのこと、薬の有無に関わらず、みなさんぜひ定期的に歯科医院を受診してください。

地域医療交流サロンを開設しました

地域医療支援学講座　吉岡　みち子

今年4月に島根県の寄付講座として開設された地域医療支援学講座です。当講座では地域枠推薦入学等の学生と地域の行政・病院との顔が見える交流の場として利用して頂く「地域医療交流サロン」を開設しました。学生同士が交流できる場、各地の情報を室内に満載し、大学内でのアンテナショップ的要素を取り入れた楽しめる場としています。6月30日の開設式・上掲式以来、県知事さんをはじめ、浜田市、雲南市、大田市、川本・邑智などの病院や行政の方と学生の交流会が催されました。今後も継続的に予定している地域もあります。学年同士の交流会やセミナーが開催され、大いに利用されています。学生の勉強支援としても一翼を担っています。地域の方には「今まで素通りしていた大学に拠り所となる場所ができた」と喜ばれています。現在までに延べ150名の学生・地域の方が利用しました。

このような交流により学生と地域、大学と地域が連携し、地域医療に関してモチベーションの高い学生を育て、県内の医師不足の現状に少しでも歯止めがかかることを願っています。場所は第4共同研究棟203号室です。近くにお越しの際にはお寄りください。



溝口知事の来室

浜田市医療専門監の齊藤医師らと本学学生との交流会

出雲市防災訓練に本院ＤＭＡＴが参加

総務課　総務担当室

9月1日（水）の「防災の日」に、出雲市立南中学校において「出雲市防災訓練」が実施され、本院のDMAT（災害派遣医療チーム）が参加しました。

訓練には地域住民をはじめ、県立中央病院、松江赤十字病院、陸上自衛隊、島根県警察本部等、約1000名が参加し、各防災関係機関の連携による災害対応、地区災害対策本部と連携した避難対応、救助体制を確認しました。

訓練は豪雨による水害・土砂災害及び大規模地震の発生を想定し、避難訓練、救助訓練等が実施され、また、仮設救護所に運ばれた負傷者に対し、救護訓練やトリアージ（負傷者の症状判断による搬送順位の決定や病院搬送の指示）訓練が行われました。

左から、岩田看護師長、田邊専門職員、遠藤看護師、山内准教授

防災ヘリによる負傷者の搬送訓練

フィッシュ！がやってきた
“フィッシュ哲学”導入によるイキイキ楽しいやりがいのある職場づくり

看護部　神田 眞理子

フィッシュ哲学は、アメリカ・シアトルのパイクプレイス魚市場が発祥の地です。「世界的に有名になろう」を合言葉に、魚投げのパフォーマンスなどで従業員の士気を高め、職場の活性化と観光名所化に成功しました。これを経営哲学として理論化したものがフィッシュ哲学です。近年、病院、企業などがこの概念を取り入れ組織に適した人材育成、魅力ある職場環境づくりに成果を上げています。

私たち看護部では、今年度の目標に「イキイキ楽しいやりがいのある職場づくり」を掲げ、フィッシュ哲学の実践に取り組んでいます。

職場風土の醸成と職務満足の向上をめざし、私たち看護職員から病院職員の皆様へ、フィッシュ哲学の4つの秘訣（①仕事を楽しむ　②相手を喜ばす　③関心を向ける　④態度を選ぶ）を広げていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

可愛い魚達が病院内を泳いでいたら、どうぞ声をかけてください。
また皆さまからの、Good ideaも募集いたします。

第７回島根大学医学部附属病院関連病院長会議を開催

総務課　総務担当室

9月30日（水）18時から出雲ロイヤルホテルにおいて「第7回島根大学医学部附属病院関連病院長会議」を開催しました。

今年で7回目を数える本会議には、島根県内41関連病院の病院長等と、小林病院長を始めとする本院関係者29名が出席し、地域医療の充実及び地域の病院との機能的な役割分担と連携の更なる構築に向けて意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

1. 島根大学医学部附属病院と地域医療について
2. 地域医療支援学講座の設置について
3. 初期臨床研修及び後期臨床研修について
4. がんプロフェッショナル養成プランの進捗状況について
5. ワークライフバランス支援室の開設について
6. 病院再開発について

議事に引き続き懇親会が催され、関連病院の病院長等と本院関係者との間で、熱心に情報交換が行われました。

日本医療マネジメント学会 第9回島根支部学術集会を開催しました

日本医療マネジメント学会 第9回島根支部学術集会
会　長　　小林　祥泰
実行委員長　廣瀬　昌博

去る9月25日（土）に日本医療マネジメント学会第9回島根支部学術集会を本院が担当し、大社文化プレイスうらら館に於いて開催いたしました。

島根県内から総勢357名の医療関係の多職種の皆様にご参加いただき、活発な発表や討論により本会が成功裡に終了できましたことを、参加者並びに関係者の皆様方にまず持って御礼申し上げます。

今回は、「地域医療における質の向上と標準化―臨床指標の有用性とその活用―」をテーマとし、「臨床指標」という専門用語をより身近に感じそれを日常的な病院活動で有効に活用していただくことを目的としてプログラムを作成いたしました。

特別講演では池田俊也先生（国際医療福祉大学大学院教授）に医師のお立場から「臨床指標を用いた医療の質の評価」と題してご講演いただきました。また、今回、新しい試みとしてのランチョンセミナーでは、小林美亜先生（厚生労働省国立病院機構本部　総合研究センター　診療情報分析部主任研究員）に看護師のお立場から「クリティカルパスを用いた医療の質管理」や臨床指標の活用方法などについてご講演いただきました。

また、シンポジウムでは多職種のシンポジストの方々に医療安全、病院経営、感染対策などの視点から、「臨床指標」として他の病院でもすぐにでも活用できる内容でご発表いただきました。一般演題、ポスター演題では、各病院でこれまで取り組んでこられた貴重な病院活動に関してご発表いただきました。発表いただきました方々に改めて御礼申し上げます。

本会の開催によって「臨床指標」が今後、日常のあらゆる分野での病院マネジメント活動に役立つことと思っております。

なお、来年の医療マネジメント学会は松江医療センター（会長：徳島　武病院長）の担当により9月10日（土）に松江市の“くにびきメッセ”で開催されることが決まりました。

青少年のための科学の祭典2010島根大会に出展

医療情報部　花田　英輔

さる7月31日と8月1日に出雲科学館で開催された表記の行事に、クリニカルスキルアップセンター、検査部、およびMEセンターのご協力をいただいて出展しました。

この行事は、小中学生を主な対象として、理系離れを防ぐ意味も含め、出雲市内外の幼稚園、小中学校や高校から多くの展示がなされました。ものづくりや化学実験などの展示が並ぶ中、私どもはクリニカルスキルアップセンターの筋電計を用い、来場者の腕の筋肉の動きと電位の関係を示すと共に、電気パルスで筋肉が動く様子を観察していただきました。

2日間で約50名の方に体験していただき、大変好評を博しました。また、健康な方にはあまり知られていない生理機能検査部門や臨床検査技師の仕事についての周知も図ることができました。

筋電計体験の様子（出雲科学館提供）

慢性腎臓病予防･透析･腎移植に関する市民講演会を開催

泌尿器科　井川 幹夫

8月22日（日）に出雲市役所のくにびき大ホールで市民公開講座「腎臓病にならない為に・もしも腎臓病になったら」を開催しました。この公開講座の主要な目的は、本年7月に改正臓器移植法が施行され、脳死下の臓器提供が増加することが予測されることから、島根県で唯一の献腎移植登録施設である本院の役割と県内の腎移植の現状を市民の皆様に知っていただくことにあります。当日は猛暑にも拘らず約140名の方々にご出席いただきました。講演では当院腎臓内科の伊藤孝史先生が透析治療を必要とする末期腎不全の背後には膨大な数の慢性腎臓病(CKD)患者が存在し、腎不全への進行抑制、脳卒中や虚血性心疾患などの予防が重要であることを強調され、続いて泌尿器科の三井要造先生が血液透析または腹膜透析の治療選択、透析の現状について、同じく有地直子先生から生体腎移植、心停止下献腎移植、脳死下献腎移植などの話題提供、説明がありました。講演後のQ&Aコーナーでは事前にいただいたものを含めて多くの質問があり、腎臓病、透析、腎移植について、一般市民の関心の高さを反映していました。脳死下臓器移植については、7月以降増加していますが、移植臓器不足の現状には変わりはなく、島根県においても臓器移植に関するあらゆる啓発活動が必要であることは言うまでもありません。幸いなことに、あるアンケート調査では島根県民は臓器移植に前向きであるとの結果が報告されています。今後県内でも発生が予測される脳死下臓器移植に対応するために、当院の臓器提供および腎移植体制を整備する必要があると考えられます。

寧夏医科大学　呉世彩校董事会主席が医学部長･病院長を表敬訪問

総務課　総務担当室

6月22日（火）中国寧夏医科大学の呉　世彩 校董事会(大学理事会)主席を団長とする6名が紫藤 治医学部長、小林祥泰病院長を表敬訪問し、本学と寧夏医科大学との大学間交流協定や2009年5月に新たに締結した本学医学部と寧夏医科大学附属医院との部局間交流協定を踏まえ、医学部と寧夏医科大学との今後の学生交流や共同研究について懇談しました。表敬訪問の後、呉世彩 校董事会主席一行は、大谷 浩副学長(医学教育・研究担当)の案内で、医学部の遠隔講義システムや附属病院の内視鏡トレーニングセンター、放射線部のIMRTなどの高度な治療機器の見学を行いました。

記念品を交換する紫藤医学部長（左）と呉主席（右）

がん指導薬剤師に認定されました

薬剤部　　玉木　宏樹

この度、日本医療薬学会「がん指導薬剤師」の認定を受けました。がん指導薬剤師は、がん領域における薬物療法等についての高度な知識と技術を用いて、医療機関において質の高いがん薬物療法を実践するとともに、他の薬剤師に対する指導的役割を果たし、研究活動についても自ら推進することができる能力を有するものとして認定されます。認定には、研修歴、症例報告、論文、試験合格などの要件を満たす必要があり、現在、全国で141名が認定を受けています。がん領域においては、近年、分子標的治療薬をはじめとする新薬の登場により、標準治療も著しく変化してきております。今後も、がん治療に関する新しい知識を習得し、化学療法や緩和治療における薬剤の適正使用に努めるとともに、薬剤師の専門性を生かし、がん治療をトータルにサポートすることで、治療効果や患者さんのQOLの向上に寄与していきたいと思います。また、がん化学療法の外来化に伴い、経口抗がん薬や支持療法薬を調剤する保険薬局との連携が重要となっております。研修会などでの情報発信ならびに処方鑑査、服薬説明などの保険薬局業務において必要となる患者情報の共有化を図ることで、外来治療における安全性確保に努めていきたいと考えております。「地元で安心してがん治療を受けられる環境」を提供するための一翼を担うべく、研鑽を積んでいきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

看護部から新たに笑い療法士２名誕生!!

看護部　竹田　徳子、黒崎　美穂

私たちは看護師として病める（身体や心）患者さんに対して、何か出来ることはないか模索していました。その頃、笑い療法師として活動している同僚看護師を見て関心を持ち、いろいろな学びを深めて今年「笑い療法士3級」の資格を取得しました。

「笑い療法士」とは「癒しの環境研究会」が認定している資格です。その目的は、笑いで患者さんの自己治癒力を高め、健康な人の発病予防をサポートすることです。「笑い」はナチュラルキラー細胞を活性化させ、免疫力を高め気分を落ち着かせるとされています。ともすると、日々の業務に流されてゆとりがなくなり、大事な「人を思いやる心」を見失いがちです。そんな時「笑い療法士」として、周りの人たちを笑わせ、明るく楽しい雰囲気作りをし、ゆとりをもって患者さんやご家族に関わり信頼関係を築きたいと思います。ホッと肩の力が抜けて安心できると思ってもらえるような看護師に私達はなりたいです。そこでまずは身近な人達から、ジワジワと笑いの輪を広げて笑いを感染させていきます。皆さんも、笑いの感染症にかかってください。

左から竹田看護師、黒崎看護師

「夢実現進学チャレンジセミナー」参加高校生による医療体験実習

総務課　総務担当室

医学部、法学部等の難関大学・学部に進学希望を持つ高校２年生が参加対象となる「夢実現進学チャレンジセミナー」（島根県教育委員会主催）が、8月4日（水）～7日（土）に開催されました。

このセミナー期間中、8月6日（金）に島根大学医学部及び附属病院でのプログラムが組まれており、当日は理系のセミナー参加生徒（県内の15校から40名）が訪れ、以下の講義や体験実習を行いました。

【プログラム内容】

＊紫藤医学部長の講義

＊症例呈示「脳卒中について」（神経内科　水原医師）「膀胱がんについて」（泌尿器科　本田講師）

＊各種医療体験実習(6班に別れ、6種類の実習を行う)

手術見学（佐倉手術部長）、採血・点滴実習（狩野クリニカルスキルアップセンター長）、病理部見学（丸山病理部長、原田副部長）、リハビリ実習（馬庭リハビリテーション部長）、BLS・蘇生実習（ICU 串崎医師、麻酔科 本岡医師）放射線部見学・画像診断（北垣放射線部長）、ビデオセミナー（井川副病院長）

＊内田伸恵教授の講義－医学の扉－

＊医師、医学部学生との意見交換会

朝早くから夜遅くまでの密度の濃いスケジュールでしたが、どのプログラムでも大変熱心に実習を受ける姿が見られました。セミナー終了後のアンケート結果では、医療に携わることの重さと喜び、医療人の使命感と情熱を肌で感じ取り、生徒の心を大きく動かしたことが分かりました。

病理部見学

ＡＥＤ使用法･心肺蘇生法実習

紫藤　医学部長の講義

放射線部見学

採血･点滴実習

医師、医学部学生との交流会

高校生手術部体験学習を実施しました

手術部　佐倉　伸一

8月9日（月）の午後、県内の高校生を対象に手術部体験学習を実施しました。この体験学習は、手術の現場を高校生が実際に体験することにより医療への関心を高めて、将来医師、看護師や薬剤師等の医療従事者を目指す人材を増やすことを目的に、毎年一回夏休み中に実施しているものです。

県内高校から27名の参加があり、井川副病院長が注意点などを説明した後、4グループに分かれて次のプログラムを体験し、医療実践に触れました。

【プログラム内容】

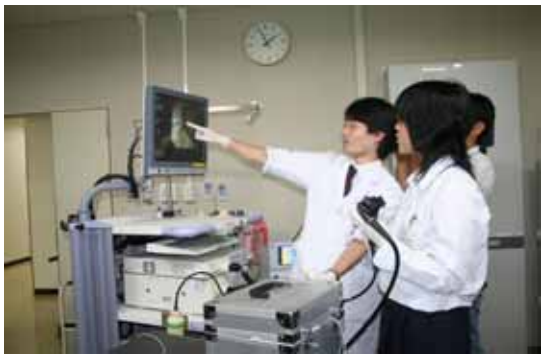
・実際に行われた手術の見学（術衣着替え、手洗いを行い手術室に入室）
・豚の眼球を用いた眼科白内障手術の体験（眼科 谷戸講師、松岡医師）
・バーチャルリアリティー手術シミュレーターを用いた内視鏡外科手術の擬似体験（久守内視鏡手術トレーニングセンター長）
・内視鏡トレーニングセンターのウェットラボにおける内視鏡手術の体験（消化器内科 石村講師）

手術室では心臓外科や消化器外科の手術を見学し、緊張気味ではありましたが術者や助手の先生の説明に熱心に耳を傾けている様子がみられました。手術見学以外は、これまで好評で続けて開催しておりました手術シミュレーターを用いた内視鏡外科手術体験はじめ、今回初めて取り入れられた豚の眼球を用いた眼科白内障手術体験やウェットラボにおける内視鏡手術体験など、実際に手を動かす実習が非常に好評でした。体験学習終了後のアンケートでは「医学部に行きたいという気持ちが強くなった」、「医療に興味がわいた」など好意的な回答が大半を占め、今回の企画の目的を達成できたことが確認できました。

今回の体験実習では、外科系各科、内視鏡トレーニングセンター、総務課、学務課の方々の多大なるご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。また来年以降も実施する予定ですのでよろしくお願い申し上げます。

オリエンテーション

眼科「白内障手術」ウェットラボ



内視鏡手術ウェットラボ

腹腔鏡手術のトレーニング体験

患者サービス向上の取り組みについて

医療サービス課

遠隔地の患者さんに宿泊施設を提供しています

平成19年4月より患者サービスの一環として、患者さん及び家族の方々が医学部会館（図）を宿泊利用できるようになっています。当初、利用できる部屋は3室でスタートしましたが、近い・安い・便利と好評で、すぐ満室になりお断りすることも度々ありました。

その後、利用できる部屋数が増えましたが、時期によっては長期間満室状態が続き、利用希望をされた皆さんには大変ご不便をおかけしました。

このような状況の中で、本年7月から、市内塩冶有原町にある「ニューウエルシティ出雲」のご協力を得、来院患者・家族の方々が宿泊を希望された場合、通常価格より割安の料金で宿泊ができるよう、提携をいたしました。この制度を利用される時には、医療サービス課の医療相談窓口へ来ていただき、「宿泊願」の用紙を受け取ってください。この「宿泊願」を「ニューウエルシティ出雲」受付カウンタへ提出していただくことによって、特別顧客利用料金の適用を受けることができます。

この特別顧客利用料金の制度を利用し宿泊された方は3ケ月間で66名となっており、好評をいただいているものと思っています。

今後ますます患者サービスの向上を目指して、医療サービス課は頑張ります。

図　外来患者さんも宿泊できる医学部会館

小児科病棟で「スーパー人形劇＆あかずきんちゃん」を開催

8月24日(火)13時30分から約1時間、本院小児科病棟ディルームで「人形劇団ののはな」による「スーパー人形劇＆あかずきんちゃん」が開催されました。

この人形劇は、童話あかずきんのお話をすべて1人で演じるもので、ユーモアいっぱいの楽しいお話が入院中の子どもたちの笑顔を誘いました。

なお、この企画は、入院している子どもたちに笑顔と感動、そして楽しいコミュニケーションのひとときが生まれることを願い、特定非営利活動法人子どもNPO・子ども劇場全国センターが主催し、特定非営利活動法人しまね子どもセンターが、「HOTもっとプレゼント2010」として実施したものです。

「HOTもっとプレゼント2010」は、今年度、全国15か所の医療機関で実施される予定で、うち国立大学病院での実施は本院のほか金沢大、山口大、宮崎大、東京大の5病院です。

本院では、昨年度の「びりとさくちゃんのクラウニングシアター」(二人のクラウンのパフォーマンス)に引き続き開催されました。

便座クリーナーを設置しました

本院では、この10月から患者サービスの一環として、環境面及び衛生面を考えて、洋式トイレの使用の際に便座清拭用として専用「トイレシートクリーナー」を外来（1階～3階）18か所に設置いたしました。

本院でも、近年「患者さんの声」として「洋式トイレの便座汚れが気になる。」、「きれいな、清潔なトイレの使用ができる場所はありませんか。」等の要望もあり、少しでも患者さんのご意見に応えられるよう施設整備、環境整備に取り組みこの度の設置に至りました。

ボランティア活動について

医療サービス課

ボランティアコンサート

7月1日 ほっとサロン４周年ありがとう演奏会 「勝部光子さんの琴演奏」

7月2日 飯国優子さんの「ピアノ弾き語りコンサート」

8月5日 デュオラメールさんの「クラリネットとピアノのアンサンブル」

9月16日 ヴィブラコール、ヴィオレッテの皆さんによる合唱と宇家郁子さんのフルート演奏

病院運営委員会の報告

平22年7月21日　〇人間ドックの諸料金を定めました。

人間ドック基本項目内訳

項　目			項　目	
診察等	初診料		血液検査	末梢血液一般
	身長			WBC,RBC,HGB,HCT,MCV,MCH,MCHC,PLT
	体重			末梢血液像(Neutro,Eos,Bas,Mono,Lymph)
	BMI			生化学検査
	腹囲			総蛋白
	血圧			アルブミン
	視力	右（矯正）		A/G比
		左（矯正）		AST
	聴力	右		ALT
		左		S/L
尿検査	尿中一般物質定性半定量検査（糖、蛋白、潜血）			LDH
	ヘリコバクター抗体			ALP
コメント	乳ビ 溶血 黄疸			γ-GTP
肝炎	肝炎ウイルス検査 HBs抗原 HBs抗体 HCV抗体			総コレステロール
便	便中ヘモグロビン			中性脂肪
胸部X	胸部X線撮影（撮影回数1回）			HDL-C
心電図	心電図（12誘導）			LDL-C
眼科	眼底カメラ撮影			LDL/HDL
				尿酸
				血糖
				HbA1c

合計：¥21000（税込み）

人間ドックオプション項目料金

コース	名　称	検　査　内　容	税込金額
癌コース	胃癌ドック	・胃カメラ	18,900
	乳癌ドック	・マンモグラフィー	8,400
	胸腹部骨盤ドック	・ＣＴ検査（肺・腹部・骨盤）	25,200
動脈硬化コース	心臓ドック	・心臓超音波検査	14,700
	動脈硬化チェック	・中心血圧測定 ・頸動脈超音波検査 ・脈波図（3~4誘導）	8,505
オプション項目	脳ドック	・ＭＲＩ検査	29,400
	頸椎症ドック	・ＭＲＩ検査	29,400
	腰椎症ドック	・ＭＲＩ検査	29,400
	骨粗鬆症チェック	・骨塩定量検査（ＤＥＸＡ）	6,300
	腫瘍マーカーチェック	・男性用セット（※①）	8,400
		・女性用セット（※②）	8,400

※①　胃癌、大腸癌、消化器癌、肝臓癌、すい臓癌、前立腺癌、扁平上皮癌の検査を指す。
※②　胃癌、大腸癌、消化器癌、肝臓癌、すい臓癌、卵巣癌、子宮癌、扁平上皮癌の検査を指す。

平22年7月21日　○治験症例実施率の向上及び受託件数の増加を目的に、治験候補症例登録システムの構築、実施医師へのインセンティブ経費の配分等を行い、「治験推進作戦」として展開することを承認しました。

平22年9月15日　○多忙な臨床業務の中、病院内で実際に臨床実習や臨床研修の指導に当たっている若手医師（助教、医員）に対して、モチベーションを高めるためインセンティブ経費を配分することを承認しました。

平22年9月15日　○医学部附属病院に児童虐待防止委員会を設置しました。

委員会名	委員長又は部会長	職指定	委員	委員（その他）
児童虐待防止委員会	副病院長（安全管理担当） 山口清次	救急部長 子どものこころ診療部長 専任のリスクマネージャー 医療サービス課長	（看護師長若干人） 小池節子 （医療ソーシャルワーカー１人） 太田桂子	病院長が必要と認めた者

平22年9月15日　○副診療科長を承認しました。

診療科名等	職名等	新	旧	発令日
耳鼻咽喉科	副診療科長	青井　典明	片岡　真吾	平成 22 年 9 月 16 日
放射線科	副診療科長	鶴崎　正勝	―	平成 22 年 9 月 1 日

癒しのコーナー

我が家のペット

学務課
増原晴美さん提供

追いかけっことボール遊びが大好きな蘭ちゃん･･･メタボが気になるけど家族揃ってのティータイムが大好きです！（パピヨン3歳♀）

★癒しのコーナーとして「我が家のペット」を紹介しています。
かわいいペットの写真と簡単な コメントを添えて編集委員会へお寄せください。

研修会･講演会･学会等の お知らせ

名　　称	日時	場　　所	対 象 者	演 題 等	講 師 名	主催 他
第 4 回島根大学医学部附属病院 NST 合宿	10 月 2 日 (土) ～10 月 3 日 (日)	多岐キララコテージ	院内全スタッフ (医療、事務系)	経腸･静脈栄養の栄養管理、症例検討など	院内 NST スタッフ　等	島根大学医学部附属病院 NST
第 4 回　がん相談勉強会	10 月 4 日 (月) 18:30-19:00	島根大学医学部附属病院ランチカフェラパン (2 階)	がん医療に関わる全てのスタッフ	「月 30 万円の医療費どうやって支払うの？　高額療養費貸付制度について」	がん相談員	腫瘍センター 地域医療連携センターがん相談部門
看護教育セミナー	10 月 9 日 (土) 14:00-15:30	島根大学医学部看護学科棟 N21 講義室	附属病院看護職員、看護学科教員、近隣の看護職員、大学院生	「住民が求める看護とは」	元 YMCA 訪問看護ステーション所長 馬庭恭子 (地域看護 CNS)	看護学科
平成 22 年第 6 回「市民のためのがん治療の会」講演会	10 月 9 日 (土) 13:00-16:30	ビッグハート出雲 (白のホール)	一般市民	患者のためのがん医療とは何か ～患者が望むがん医療と地域の課題～ ①島根県の放射線治療の現状と課題 ②最新の外部放射線治療の進歩 ③がんの時代を賢く生きる	①島根大学医学部教授　内田伸恵 ②相模原協同病院放射線科部長 福原　昇 ③北海道がんセンター院長　西尾正道	島根大学医学部三大学コンソーシアムがんプロフェッショナル養成プラン
看護師のためのやさしい微生物学講座 (プチ感染対策研修会)	10 月 12 日 (火) 18:00-19:00	臨床講義棟　1 階 臨床小講堂	附属病院　看護師	演題 1：「グラム陰性桿菌と耐性菌」(緑膿菌･ESBL など) 演題 2：「グラム陽性球菌と耐性菌」(MRSA･MRCNS など)	題 1：検査部　臨床検査技師　柳楽槇 演題 2：検査部　臨床検査技師　谷口由紀	感染対策専門部会
市民公開講座「第 12 回神在月シンポジウム」	10 月 16 日 (土) 15:00-17:00	パルメイト出雲	一般市民	テーマ「がんの時代を生きるには」 講演①「がんの予防と早期発見」 ②「がんの画像診断」 ③「胃癌で困らないための A,B,C」	①島根大学医学部環境保健医学講座 (環境予防医学) 教授　塩飽邦憲 ②島根大学医学部放射線医学講座 教授　北垣　一 ③島根大学医学部消化器内科教授 木下芳一	島根大学部医学部泌尿器科 井川幹夫、病理部 丸山理留敬 島根県立中央病院 平田彰業
看護教育セミナー	10 月 23 日 (土) 14:00-16:00	島根大学医学部看護学科棟 6 階第 4 実習室	大学院生、学内外の看護職	「看護の質向上のためのジェネラリスト･スペシャリストの育成と活用」	東京都看護協会会長、前慶応義塾大学教授　嶋森好子	看護学科
日本消化器病学会中国支部第 61 回市民公開講座	10 月 31 日 (日) 14:00-16:30	ビッグハート出雲 (白のホール)	どなたでも参加可	①食道がん ②大腸がん ③消化器がん	①島根大学医学部消化器･総合外科 平原典幸 ②島根県立中央病院　外科　杉本真一 ③島根大学医学部　放射線治療学 川口篤哉	日本消化器病学会中国支部 世話人：田中恒夫 (島根大学医学部消化器･総合外科学)
2010 年度　島根大学がん医療従事者研修会	11 月 19 日 (金) 19:00-20:30	島根大学医学部臨床講義棟　1 階小講堂	がん医療に関わる全ての医療従事者	「抗がん薬治療時の感染症対策」	福岡大学医学部　腫瘍･血液･感染症内科学講座　准教授　福岡大学病院　感染制御部長　高田　徹	
第 10 回癒しの環境研究会全国大会	11 月 20 日 (土)　8:40～	プラバホール (松江市)	どなたでも参加可	テーマ「縁 (えにし) の糸で結ぶ癒しと医療」 **シンポジウム 1**-がん患者の癒し-　基調講演「在宅ホスピス」 1.がんサロンにおける笑い療法 2.島根におけるがんサロンのひろがり 3.野の花診療所における癒し 4.緩和ケア看護外来 笑い療法士見参　基調講演「笑いの科学」 **シンポジウム 2**-病院における食事と癒し- 1.がん専任栄養士の役割について 2.病院で食すフレンチフルコース 3.命を繋ぐ病院食 **特別講演**:透析患者にとっての癒し一家族の存在－	**シンポジウム 1** 基調講演　十和田市立中央病院院長　蘆野吉和 **笑い療法士見参** 基調講演　医療法人中央群馬脳神経外科病院理事長･笑い療法士認定評価委員長　中島英雄 **シンポジウム 2** 1.日清医療食品(株)島根大学医学部附属病院事業所栄養士　青山広美 2.フランス料理 RENCONTRE(ランコントレ)シェフ　山口雄二 3.島根大学病院臨床栄養部 NST　川口美喜子 **特別講演**　青葉クリニック院長　春木繁一	会長　小林祥泰 (島根大学医学部附属病院長)
同上	11 月 21 日 (日)　8:45～	同上	同上	**シンポジウム 3**-病院の住環境と癒し- 基調講演「シックハウス症候群の診断と症状」 1.放射線内部照射室を癒しの空間に一和紙と木材による内装－ 2.調湿木炭の効能 3.入院の住環境についての実態アンケート調査 4.病院のシックハウス症候群対策 **パネルデイスカッション**-高齢者･障害者の癒し- 1.使って癒される福祉機器 2.癒しの老人ホーム 公開講座出雲神話と癒し	**シンポジウム 3** 基調講演　三重大学医学部皮膚科教授　水谷　仁 1.島根県看護協会　板木ひろみ 2.出雲土建株式会社社長　石飛祐司 3.島根大学病院看護部　荒木もも子 4.邑智病院泌尿器科　森田祐司 **パネルデイスカッション** 1.岸エンジニアリング社長　岸　征男 2.長浜和光園園長　錦織宜之 荒神谷博物館長　藤岡大拙	同上

注) 島根県内で開催されるもの若しくは本院が主催するもので平成22年12月までの予定を掲載しています。

編集委員会からのお願い

★病院ニュースは年 4 回発行予定です。
　各診療科、各部門、事務部からの投稿をお待ちしております。取り上げてもらいたいニュース、PR など を編集委員会へお寄せください。

担当
医療サービス課　医療支援室 (内線 2068)
Email：しろうさぎ専用アドレスです。　shirousag@med.shimane-u.ac.jp
(病院ニュースは、医学部ホームページの医学部掲示板にも掲載しております。)

島根大学 医学部附属病院

あなたの未来がここにある

看護師 助産師大募集

皆様のご応募お待ちしております。

募集職種 看護師 95名・助産師 5名

平成23年病院が新しくなります。

私たちは「地域に信頼される質の高い看護」を提供します。

国立大学法人
島根大学 医学部附属病院

◎看護部ホームページ／http://www.suh-nurse.jp/

島根大学看護部 検索

携帯はコチラから

問い合わせ先　医学部総務課　0853－20－2021